

## 授業科目

## 中枢神経系理学療法学（小児）

担当教員名 星 孝、正木 光裕、犬飼 康人	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	4（うち1単位）	時間数	120（うち32）

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

発達理論、正常運動発達、国際生活機能分類、小児理学療法に関する講義、演習を行う。

## 授業の目的

授業の目的発達理論、人間発達学、国際生活機能分類、小児理学療法を学習し、実際の臨床場面でリハビリテーションを実施できるようになることを目的とする。

## 学習目標

学習目標発達理論、運動発達、国際生活機能分類を学習し、小児理学療法に必要な知識を身につける。また、脳性まひをはじめとする小児疾患及び小児疾患に対する評価と運動療法を学習することで小児理学療法について理解を深める。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	発達理論	講義、演習：神経成熟理論	正木 光裕
2	発達理論	講義、演習：ダイナミックシステムズ理論、神経細胞集団選択理論	正木 光裕
3	人間発達学	講義、演習：背臥位の運動療法	正木 光裕
4	人間発達学	講義、演習：腹臥位の運動発達	正木 光裕
5	人間発達学	講義、演習：座位、立位、歩行の運動発達	正木 光裕
6	国際生活機能分類	講義、演習：環境設定	正木 光裕
7	脳性まひの運動療法(1)	講義、演習：筋カトレーニング、ストレッチ、運動学習	正木 光裕
8	脳性まひの運動療法(2)	講義、演習：痙直型両麻痺	正木 光裕
9	脳性まひの運動療法(3)	講義、演習：痙直型片麻痺	正木 光裕
10	脳性まひの運動療法(4)	講義、演習：痙直型四肢麻痺	正木 光裕
11	脳性まひの運動療法(5)	講義、演習：アテトーゼ型	正木 光裕
12	脳性まひの運動療法(6)	講義、演習：失調型	正木 光裕
13	その他の小児疾患の運動療法(1)	講義、演習：二分脊椎、ペルテス病、骨形成不全、先天性多発性関拘縮の運動療法	正木 光裕
14	その他の小児疾患の運動療法(2)	講義、演習：筋ジストロフィー症、ダウン症候群、精神運動発達遅滞の運動療法	正木 光裕
15	症例検討1（小児）	講義、演習：小児領域の症例を検討	正木 光裕
16	症例検討2（小児）	講義、演習：小児領域の症例を検討	正木 光裕

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	イラストでわかる小児理学療法	上杉雅之 他	医歯薬出版	2013年	4,200円+税	
参考書						
その他の資料						

## 評価方法

期末試験（筆記・実技）で評価する。

## 履修上の留意点

- ・当科目は、“成人”と“小児”の2部に分かれており、評価は2部の総合で評定される。
- ・課題レポートがは、必要時の教員の指示により提出を行う。
- ・演習時間でなくても、実技や検査の実施が時間内で部分的に行われることがあり、実施に適切な服装での参加を希望する。

## オフィスアワー・連絡先

正木光裕：授業開始時にオフィスアワーなどの連絡をします